

2023年3月27日

市民派クラブの中西智子です。

通告外ですが、第1号議案 令和5年度（2023年度）箕面市一般会計予算の原案に反対し、神田隆生議員他4名提出の修正案に賛成の立場で、討論に参加させていただきます。以下、簡潔に理由を述べます。

修正案は、（仮称）箕面船場第二駐車場整備事業及び同駐車場管理運営事業、道路安全対策事業のうちの自転車利用環境整備工事、箕面今宮線道路安全対策事業の3事業を止めて、その財源を小中学校給食の無償化に充てようとするものです。

（仮称）箕面船場第二駐車場整備事業等は、船場東地区のまちづくり対策として大阪水道企業団が管理する千里浄水池の上部に400～450台規模の駐車場を、土地利用料を含めて、約5,960万円かけて整備するものです。この駐車場整備は、船場団地組合さんのエリア内の民間建物に必要な附置義務駐車場台数の緩和や、本駐車場を隔地駐車場として利用できるようにという取組みとのことですが、これまで新駅前に整備された公共施設用の駐車場が足りないのではないか、と議論してきましたが、市は民間の駐車場を活用すればよい、との考えでした。船場団地組合さんのエリアが、どのように抜本的に再整備されるのか、具体的な計画も分からないなかでの、公費を投入した駐車場整備は合理性に欠くと考えます。

また自転車利用環境整備工事約1億3700万円は、市道中央線の稲北交差点から国道171号線までの約250メートルを、現在の稲北交差点まで整備された自転車走行レーンを延長して工事を進めるものです。現在自転車走行レーンが整備されている歩道は緑が撤去され、市民からは苦情が出ています。新年度の工事についても低木は撤去し、高木は残せるか検討中とのことですが、自転車レーンは双方向の必要があるでしょうか。街中の緑をしっかりと残していくべきであり賛成できません。

次に箕面今宮線道路安全対策事業約1億5千万円についてですが、代表質問でも指摘しましたが、とくに工法については、蓋かけから断面積がかなり狭くなる管路工法に変更となり、周辺住民の方からは不安を感じるという声が上が

っています。市はチラシを撒くだけではなく、しっかり説明会を開催すべきであると考えます。また坊の島周辺住民の方からも、箕面今宮線の西口道路が拡がることによる交通量の増加を懸念する声があり、この件についても丁寧な説明が必要です。まちづくりには、多様な意見が付きものですが、市は市民としっかり向き合い、合意形成を得る努力が大切ではないでしょうか。市民参加、市民協働のあり方を改めて提起する意味も込めて、現時点でのこの事業の予算には反対といたします。

修正案の「小中学校給食費の無償化」は、保護者が負担している学校給食費について所得制限は設けず、3億3,383万3千円を用いて6か月間を補助対象とするものです。

日本農業新聞が行った2022年度の調査では、全国の約1600の自治体のうち約3割の市町村が公立小中学校給食の無償化に取り組んでおり、そのうちの42%は自主財源などで無償化に取り組んでいる、とのことでした。

物価高騰のおりに「子育て日本一」を標榜する箕面市としては、子どもの健やかな成長を社会全体で応援する取組みを実施すべきであると考えます。さきほどの、適当に修正案を提出したとの主張は極めて遺憾です、反対するなら提案事業が何故不要なのかしっかりと反論してください。

さて、新年度予算における市財政についてですが、懸念されていた市税収入は、あ今年度から4.6%アップの11億6000万円増となっており、昨年度に引き続き、堅調であるといえます。基金残高見込みは17億8800万円減り、175億8200万円。そのうち財政調整基金は約1,4億円取り崩し、残高見込みは48億円となっています。一方、市債残高は約562億円で、21億円の増です。

歳出を性質別にみると、扶助費は今年度より3.1%の増ですが、普通建設事業費は今年度より35.9%も増えています。福祉予算よりも開発予算が突出して大きく、これは根も間の類似団体比較においても顕著です。

健全化判断比率についてはいずれも基準内の数値予測となっています。決して楽観視してはならないと考えますが、数字を見る限りでは「厳しい財政」とまではいえない状況です。

市は今後、財政状況が厳しくなるであろうと考え、新改革プランを策定し、

アウトソーシングや保育所民営化などを実行してきました。

ところが、箕面市では中長期試算は示されていますが、中期財政計画は作成されておらず、将来に渡り、いつ、どのような事業にどのような支出が見込まれるのかが、分かりません。将来に渡り健全な財政運営をおこなっていくために必要な総合計画も策定されていないため、箕面の将来像もよく分かりません。危機感とは裏腹に、場当たりの行財政運営に陥ることを非常に懸念します。

将来に渡る財政状況を把握できるようにすること、施策の優先順位を見える化し、市民参画でしっかり議論できるようにするべきであると指摘しておきます。

以上、簡単ですが修正案への賛同を呼びかけまして、討論といたします。